

令和2年度 設備設計1級建築士 設計製図 対策講座【水曜コース】日程表

既に終了している日程についても、来校のうえ補講での視聴が可能です。詳細は、各校にお問い合わせください。

●設備設計1級建築士 設計製図 必修項目習得講座（令和2年） 講習時間 4.0h

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	設計製図1	事務所ビルの計画の要点	要点記述トレーニングノート、作図トレーニングノートをもとに、記述、作図のスピードアップのポイントを学習 + 記述、作図のワーク	事務所ビルの各設備の計画の要点を理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	設計製図2	空調・換気設備		系統図、機械室の配置図、平面ダクト図の描き方手順を学習する	
3		1.0h	設計製図3	給排水衛生設備		系統図、便所の平面図の描き方手順を学習する	
4		1.0h	設計製図4	電気設備		単線結線図、照明設備の平面図の描き方手順を学習する	

●早期教材  
設計製図 要点記述トレーニングノート、作図トレーニングノート(空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備)

●設備設計1級建築士 設計製図 対策講座（令和2年） 講習時間 54.0h + 4.0h(模擬考査3)

回数	5月開講日程※2	2月開講日程※2	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	6/17(水)	4/22(水)	7.0h	設計製図1	ガイダンス 事務所ビルの設備計画	オリジナルテキストを用いて、計画条件の読み取りのポイント、計算の仕方、作図手順を学習 + ワークシートを用いて実践形式の演習を行い習熟度を確認	空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備、それぞれの出題傾向、解答するうえでの注意点を理解する 課題の読み取り方を確認し、計画の条件を的確に掴めるようにする。それぞれの設備計画の要点、概算負荷計算の仕方について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する	ワークシートの添削 + 宿題課題の添削
2	6/24(水)	5/13(水)	7.0h	設計製図2	空調・換気設備の計画		空調・換気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、空調配管系統図、事務所のダクト平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する	
3	7/1(水)	6/3(水)	7.0h	設計製図3	給排水衛生設備の計画		給排水衛生設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、給水・雑用水系統図、便所の配管平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する	
4	7/8(水)	6/24(水)	7.0h	設計製図4	電気設備の計画		電気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、単線結線図の作図、照明計算、照明配置図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する	
5	7/15(水)	7/15(水)	6.0h (設計製図考査4.0h+解説2.0h)	設計製図5	模擬考査1	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを確認	現状の実力を把握し、今後の答練に向けた学習指針を立てる。	模擬考査の添削 + 宿題課題の添削
6	8/5(水)	8/5(水)	7.0h	設計製図6	答練(課題文の読み取り方法) 答練(必須問題対策)	オリジナル答練問題を用いて問題演習 + 解説講義で採点のポイント、計算手順、作図手順を理解	実践形式で課題文の読み取り方法を学習する 制限時間を設けて実践形式で必須問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する	答練の添削 + 宿題課題の添削
7	8/12(水)	8/12(水)	7.0h	設計製図7	答練(選択問題対策)※1		制限時間を設けて実践形式で選択問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する	
8	9/16(水)	9/16(水)	6.0h (設計製図考査4.0h+解説2.0h)	設計製図8	模擬考査2	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	学院テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削 + 宿題課題の添削
9	10/28(水)	10/28(水)	4.0h	設計製図9	模擬考査3(新規特別実施)	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削

※1 空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備の3分野の中から1つ選択します。

※2 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月下旬～10月中旬(連続する3日間)  
(公財)建築技術教育普及センター講習受講

11月15日  
設備設計1級建築士講習 修了考査